

《資料》

高齢者の終末期ケアを考える —介護保険施設での看取りに視点を当てて—

荒井 淑子, 大嶋 光子, 池俣 志帆, 竹松 百合子

梶山女学園大学看護学部看護学科

要 旨

高齢者の終末期ケアは、介護保険の成立とともに「看取りケア」として、病院から介護保険施設や在宅へと移行し拡大しつつある。介護老人保健施設でも、社会的ニーズや介護保険制度の改正により、看取りの場として終末期ケアが実施されるようになった。終末期医療については、高齢者だけではなく、緩和ケアや、尊厳死や安楽死などの観点で、以前から様々な議論がなされてきた。本稿は文献をもとに、まず、「終末期」や「看取り期」の判断及び定義に関する概観をし、終末期の基準や判断の理解を深めた。次に介護保険施設で高齢者の終末期ケアを受ける場合の問題点を導き出し、今後の課題について考察した。

キーワード：高齢者, 終末期, 終末期ケア, 看取りケア